



## 5カ月間で経験した急性肺炎23例の検討

鹿追町国民健康保険病院  
白川 拓

### 鹿追町国保病院の運営状況

- 鹿追町は人口6千人の町で、病院のほかに診療所2施設、老健施設（100床）、特養ホーム（50床）
- 標榜科目 内科 外科 小児科 整形外科 透析 常勤医2名 外来患者数100人 入院患者数45人 健診（乳幼児・学校・町民・結核・骨粗鬆症・ドック） 予防接種 訪問診療 特養診療 自衛隊診療 夜間診療（眼科 呼吸器内科専門医の診療）
- ケア・ミックスで運営しており、療養型の内訳は特殊疾患、緩和ケア、終末期、リハビリ、社会的入院など 病棟レクレーションを開催
- 地域社会のニーズに応えるため、専門性よりも多機能性を重視した運営のため効率の悪さを指摘される
- 包括ケアシステムの確立のため保健・福祉部門と連携し住民に「安心」「満足」「幸福」を提供することを目指している

### 1. はじめに

平成20年1月より5月までに入院を要する23例の急性肺炎症例を経験したので報告する。

- 院内肺炎：4例 市中肺炎：19例（嚥下性肺炎：8例）
- 年齢分布：14～103歳 平均年齢：78.5歳 後期高齢者：18例（78.2%）
- ARDS合併：5例に人工呼吸器装着 平均装着期間：12.4日間で全て離脱は可能であったが、2例は2カ月後に死亡。
- 転帰：5例が死亡（4例はADL全介助）4例が入院中（3

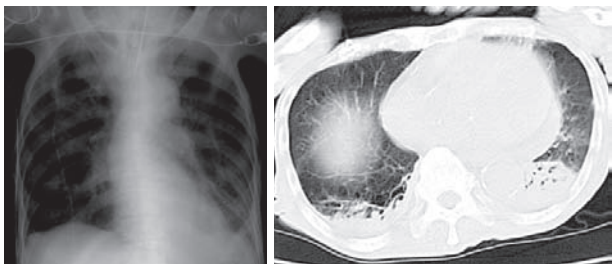
例は要介護認定あり）14例が退院（1例にPEG施行）

- 起 因 菌 11例から15種類の菌が同定 緑膿菌、MRSAが3件、肺炎桿菌、腸球菌が2件、MSSA、インフルエンザ桿菌、シトロバクター、アシネトバクター、マイコプラズマが1件であった。

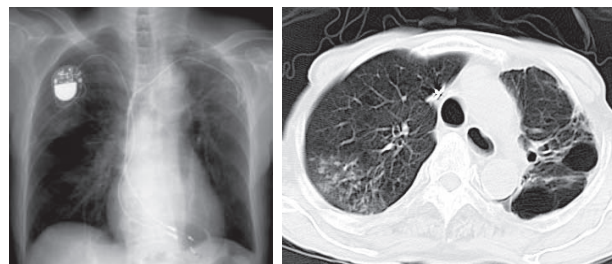
### 2. 症例の提示 院内肺炎4例（上記4例）と市中肺炎19例

（AP：嚥下性肺炎）

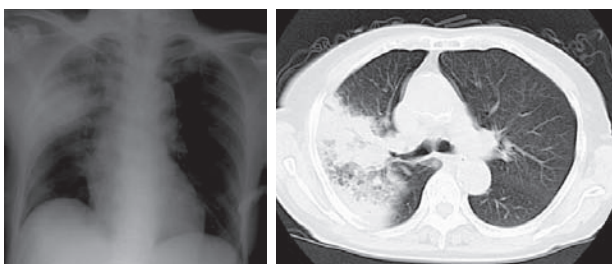
年齢	性	AP	合併症	状 況	ADL	施設	呼吸器治療	入院日数	起 因 菌
74	男	+	ARDS DIC	PEG 気管切開	介護5		20日間	死	MRSA
84	男	+	ARDS DIC	PEG 気管切開	介護5		12日間	死	緑膿菌 肺炎桿菌
86	男	+		現在も肺炎、 尿路感染を 繰り返し入 院中 IVH	介護5			入院中	肺炎桿菌 MSSA
86	女			ダンピング 症候群で入 院中に発症	自立			31日	腸球菌 MRSA
86	女				自立			23日	
86	男		好酸球性 肺炎	抗結核薬内 服中 パルス療法 で改善	介護1			死	
103	女	+	胸水	心不全	介護5	○		死	
79	男				自立			10日	
75	女	+	脳梗塞後 遺症 四肢麻痺	PEG	介護5	○		死	
88	男		ARDS	IVH 気管切開	介護1		13日間	入院中	
79	男				介護1			13日	
88	男				介護2	○		15日	シトロバ クター
84	女				介護2	○		14日	
90	女	+			介護2	○		9日	腸球菌
35	男				自立			4日	インフル エンザ桿 菌
98	女	+		肺炎改善後 にPEG造設し 施設へ再入 所	介護5	○		47日	
85	女		ARDS	脳梗塞後 遺症	介護2	○	7日間	35日	
83	男			COPDにて在 宅酸素療法	介護1			10日	緑膿菌
14	男				自立			6日	マイコプ ラズマ
86	女		ARDS		介護1	○	10日間	24日	緑膿菌 MRSA
73	女	+	脳梗塞後 遺症	右片麻痺	介護3	○		8日	
78	男		敗血症	心不全	自立			入院中	
65	女		原発性胆 汁性肝硬		介護2			入院中	アシネト バクター



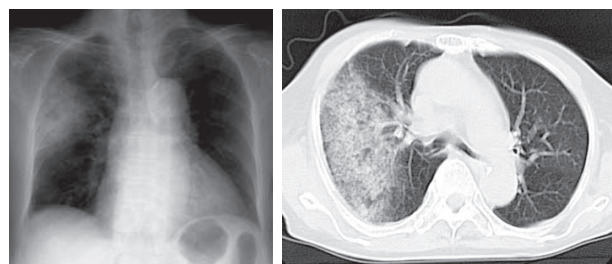
84歳 男 AP ARDS DIC PEG 気切 介護5 緑膿菌肺炎桿菌 死亡 X-P CTでは両肺野の透過性低下、両下肺野にエアーブロンコグラムを伴う浸潤影。



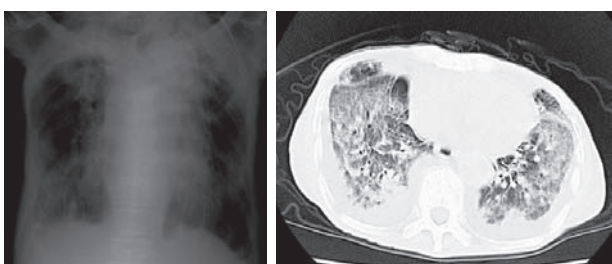
88歳 男 介護2 老健施設 シトロバクター 入院 15日 X-P CTでは右中肺野に浸潤影を認め、左肺野に気腫性的変化を認めた。



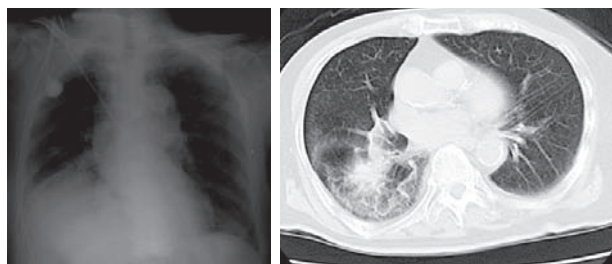
86歳 女 ダumping症候群入院中に発症 自立 腸球菌 MRSA 入院31日 X-P CTでは右中肺野に広範な浸潤影を認める。



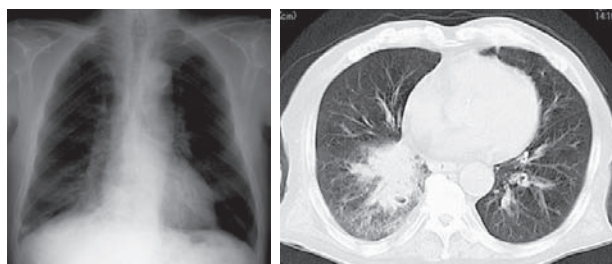
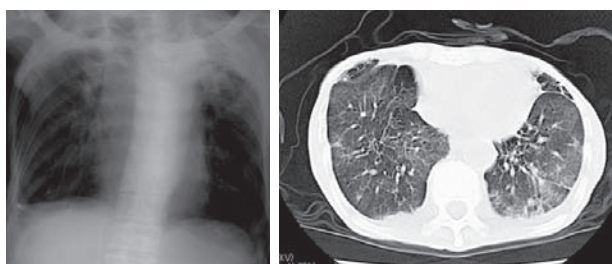
90歳 女 AP 介護2 老健施設 腸球菌 入院9日 X-P CTでは右中肺野に浸潤影を認めた。



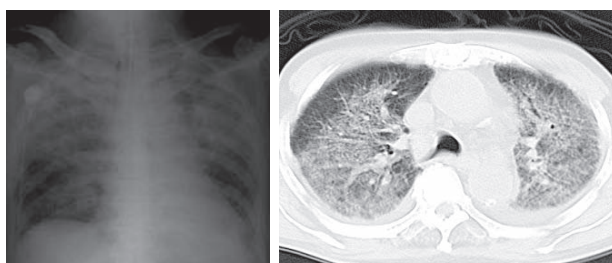
86歳 男 好酸球性肺炎 非定型的抗酸菌症 WBC:12100(好酸球:41%) パルス療法 介護1 死亡 X-P CTでは上段のパルス療法前で両肺野広範に強い浸潤影を認め、下段のパルス療法後では改善している。



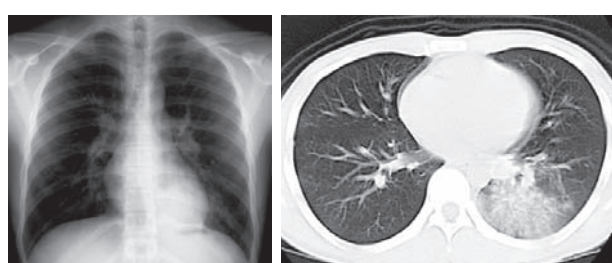
98歳 女 AP 肺炎改善後にPEG施行し施設に再入所 介護5 特養施設 入院47日 X-P CTでは右下肺野に浸潤影を認める。



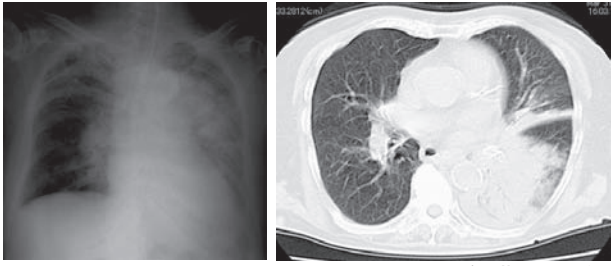
83歳 男 COPDにてHOT療法 介護1 緑膿菌 入院 10日 X-P CTでは右下肺野に浸潤影を認める。



88歳 男 ARDS 人工呼吸器(13日) IVH 気管切開 介護1 入院中 PEGの予定 X-P CTでは両肺野の透過性低下、両上肺野に広範な浸潤影を認める。



14歳 男 自立 マイコプラズマ 入院6日 X-P CTでは左下肺野に浸潤影を認める。



86歳 女 ARDS 人工呼吸器(10日) 介護1 老健施設 緑膿菌 MRSA 入院24日 X-P CTでは左肺野に広範な透過性低下、エアーブロンコグラムを伴う浸潤影を認めた。



73歳 女 AP 脳梗塞後遺症 右片麻痺 介護3 老健施設 入院8日 X-P CTでは左中肺野に淡い浸潤影を認めた。

### 3. まとめ

- 1) この冬期間、鹿追町では、入院を要する肺炎の発症が多かった。
- 2) 院内肺炎：4例 市中肺炎：19例（嚥下性肺炎：8例）
- 3) 年齢分布：14～103歳 平均年齢：78.5歳  
後期高齢者：18例(78.2%) 高齢者の肺炎が非常に多い。
- 4) 転帰 死亡：5例(4例は介護5) 入院中：4例(3例に介護認定あり)  
退院：14例(1例にPEG施行) 肺炎年間死亡数10万人(1/1200人)
- 5) ADL分類では、自立6例、介護認定17例(要介護5が6例)であった。
- 6) 病院を含めた施設入所での発症が13例と半数以上を占めた。
- 7) 可能な限り病原体検索をしたが、肺炎球菌は全く認めなかった。
- 8) 公立病院改革ガイドライン（広域・連携構想）により医療の地域格差が拡大する中、長寿医療制度は高齢者への医療格差拡大を導き、国民は既に平等な医療を享受できない。医療、福祉、介護など社会保障は原則的に経済、市場原理が馴染まない分野であり、財源の確保を計り、医療崩壊を回避するには、人権の尊重やヒューマンイズムが政策の根底に存在しなければならない。

## お知らせ

### 国民年金保険料の滞納について

#### ◇医業経営・福利厚生部◇

表題に関し、平成21年4月から健康保険法による保険医療機関の指定・更新を受ける場合に、開設者または管理者が国民年金保険料等の社会保険料を滞納している場合には欠格事由に該当し、指定・更新が受けられないことがあります。

また、指定介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設、指定居宅介護支援事業者等の指定・更新の扱いも同様であります。

したがって、社会保険料の未納で滞納処分を受け、正当な理由がなく引き続き3カ月以上の全ての期間が未納の場合は、指定・更新の申請をしても受理されないことがありますので、ご注意ください。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

#### 【お問い合わせ先】

北海道医師会会員課 TEL 011-231-1434